



MANITOU (マニトウ) の紹介



MANITOUについて

メーカー	GOLDSIEBER社
デザイナー	Gunter Burkhardt
年号	1997年
プレイ人数	2～4人
対象年齢	12歳以上
プレイ時間	約30分



MANITOUの目的

- プレイヤーは、1つの部族を指揮して、バッファロー狩りを行います。
- しかし、他の部族も狩りを行うため、それらと戦って、バッファローを狩らないといけません。
- 最終的に3回狩りを行い、捕まえたバッファローのポイントと、捕虜として捕まえた他の部族のカードの数の合計が一番多いプレイヤーが勝ちです。

使うカードの種類

- 泥棒カード (ペナルティのカード) 7枚
- バッファローカード (小) (1, 2, 3, 4, 4, 5, 5, 6, 7)
(大) (9,10,10,11,12,13)

計15枚

- 部族カード

4色 各色22枚



泥棒カード



バッファローカード

部族カード

- 戦士カード 5種類 各2枚 計10枚
- ハンターカード (1,2,3,4,5,5,6,7,8,9,10) 計11枚
- 勝敗カード (戦士カードの勝敗参照用) 1枚



ハンターカード



勝敗カード

戦士カードの種類と強弱(強→弱)

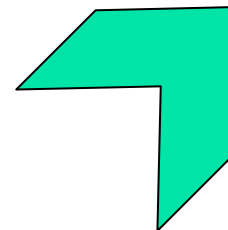
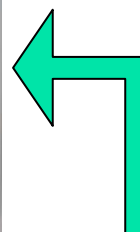
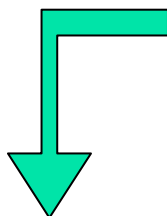
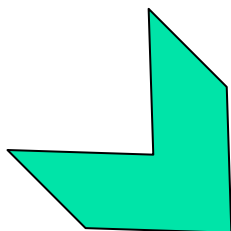
酋長



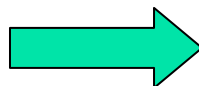
女房



祈祷士



雨乞い士



斥候





ゲームの準備

- 各プレイヤーは、部族カードのセットを少しずつ受け取ります。
- バッファローカード(小)、バッファローカード(大)、盗賊カードをそれぞれ裏向きにまとめておく。
- ディラーを何らかの方法で決める。



狩場の設置

- ディーラーは、バッファローカード(小)、(大)を一枚ずつ取り、表にしてまとめておきます。このようにして、まとめたものを狩場とします。
- 同じように、別の場所に小1枚、大1枚の狩場を1つ、小1枚の狩場を1つ作ります。



山札の選出

- もらった部族カードのセットを控えのカードと名づけます。
- 控えのカードの中から、ハンターカードと戦士カードを、合わせて8枚選びます。ただし、ディーラーは7枚とします。
- 選んだカードが、そのまま行われる狩りの山札になります。控えのカードは、狩りには使いません。



バッファロー狩り

- 各プレイヤーは山札をよく切り、上から三枚取り、手札とします。
- ディーラーの左隣の人から、時計回りにゲームを進めます。
- 自分の番になったら、(手札が2枚なら、山札から1枚引き、)手札から一枚出し、いずれかの狩場に向けて、自分の方向に表にしておきます。

黄

バッファロー狩り(例)

赤

緑



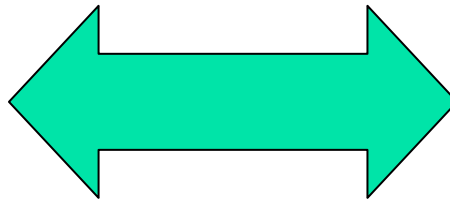
2つの部族が戦士カードを同じ狩場に出すと戦いが始まります。

青(ディーラー)

戦士の戦い



弱いほうを裏返す。



引き分けなら、
両方とも裏返す。

自殺的攻撃について



この場合、上に置いてある戦士カードと戦わなければならない。

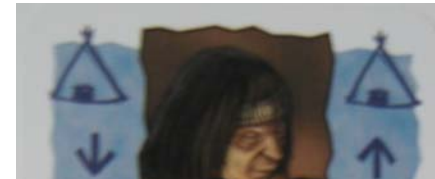
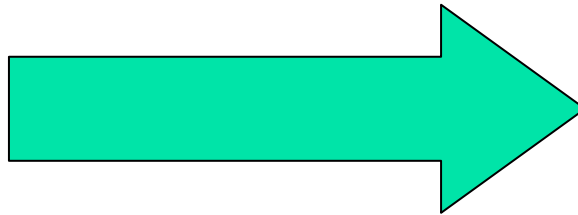


同じ狩場に2枚まで置ける。

自殺的攻撃について



例え、強弱において
下のカードに勝てると
しても…。



上のカードとの戦いの
結果に関わらず、裏返
る。

1度に一人までしか倒せない。



狩りの終了（泥棒カードの処理）

- ディーラーが全ての手札を出したら、狩りの終了です。手札のあまっているプレイヤーは、控えのカードに戻します。
- 場に出ているハンターカードの値の総合計が一番大きいプレイヤーは、泥棒カードを1枚もらいます。二人以上いた場合は、それぞれが1枚ずつもらいます。



狩りの終了(バッファローの処理)

- 次に、それぞれの狩場に対して、ハンターカードの値の総合計が1番大きい人が、バッファローカード(大)を、2番目に大きいプレイヤーがバッファローカード(小)をもらいます。
- ただし、1番大きい人が複数いた場合は、その狩場からは、バッファローカードを取れません。また、2番目に大きい人が複数いた場合は、バッファローカード(小)だけが取れません。
- 取られなかったバッファローカードは、最初のバッファローカードの束に、(小)(大)区別して入れます。



狩りの終了（バッファローの処理）

- バッファローカードが2枚ある狩場に、1つの部族しかハンターカードを置いていない場合、そのプレイヤーは、両方とももらっていきます。
- ハンターカードの無い狩場のバッファローカードは、最初の束に（小）（大）区別して入れます。



狩りの終了（部族カードの処理）

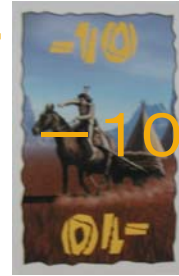
- 狩場の戦士カードが表になっている場合、その狩場の部族カードは、全てその戦士カードの部族のプレイヤーが持っていきます。こうしてもらったカードのうち、自分の部族カードを控えのカードに入れ、その他の部族カードは、捕虜として自分の取ったバッファローと一緒にのところに置いておきます。
- 表になっている戦士カードが無い狩場は、全てのプレイヤーがそこにある自分の部族カードを回収して、控えに加えます。



ゲームの終了

- 狩場の設置から、ここまでを一回の狩りとし、これをあと2回繰り返します。ただし、次のディーラーは、前のディーラーの左隣の人となります。
- 3回狩りが終わったら、
 - (バッファローカードの値の総合計)
 - + (捕虜のカードの枚数)
 - (盗賊カードの点数)と計算し、その点数が一番高かったプレイヤーが勝者となります。

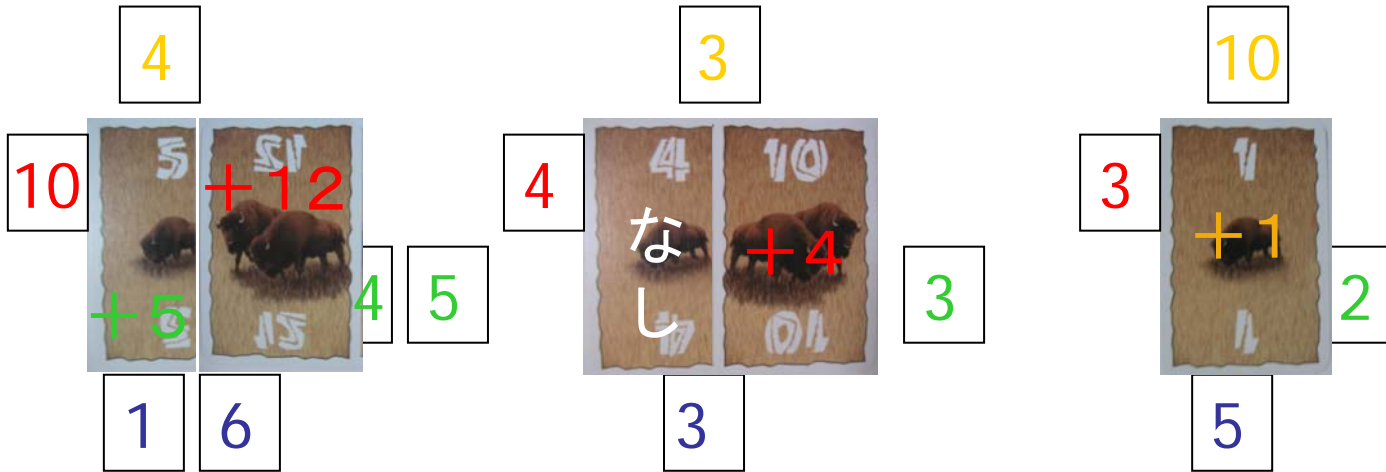
黄 17



狩り後の処理例

赤

17



緑

14

15

青(ディーラー)



戦略

- 戦士カード4種類と値の大きいハンターカード2枚、小さいハンターカード2枚にすると、ある程度の対処が出来る。
- ディーラーは、山札が7枚で、全て出さなければならないが後手に回れること、また、他のプレイヤーは、先手になってしまうが、8枚で1枚残せること、を考えて山札を作る。
- 2人や4人では、ディーラーをやらない人、2回以上やる人がいるため、ディーラーをはじめめる位置もある程度重要。
- 多人数でやっていて、狩場のバッファローカードの値が小さいときは、捕虜を大量に捕まえて点を稼ぐことも出来る。
- 他のプレイヤーの捕虜にされたカードを覚えておくと良いが、その際、戦士カードよりもハンターカードを覚えておくと、泥棒カードを引かずにすむ。